

平成19年度当初予算 施策別概要

325 感染症対策の推進

(主担当部：健康福祉部)

- 32501 感染症危機管理体制の確保 (健康福祉部)
- 32502 感染症予防および治療体制の充実 (健康福祉部)
- 32503 感染症対策のための調査研究・試験検査の推進 (政策部科学技術振興センター)

< 施策の目的 >

- (対象) 県民一人ひとりが
- (意図) 感染症の被害から守られている

< 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	一、二、三類感染症の集団発生事例数	目標値	0 件
		現状値	0 件 (2005 年度)

県内における一、二、三類感染症の集団発生事例の数 (健康福祉部健康危機管理室調べ)

県の取組 目標項目 (副指標)	感染症情報提供登録者数	目標値	1 , 1 0 0 件
		現状値	9 6 2 件 (2005 年度)
	H I V 抗体検査件数	目標値	7 3 4 件
		現状値	6 0 9 件 (2005 年度)

< 現状と課題 >

感染症対策については、これまで、「三重県感染症予防計画」および「三重県結核対策基本計画」に基づき実施してきたところですが、新しい感染症の出現や輸入感染症の発生に備えた対策の充実とともに、抵抗力の弱い高齢者の増加への対応が求められています。

特に、発生時の迅速な拡大防止対策が重要であることから、感染症に関する情報収集、調査研究、病原体検出能力向上など危機管理対策の充実が課題です。

また、感染症は他人に「うつる」病気としての意識が強いことから、患者の人権を尊重した対応が重要です。

< 平成19年度の取組方向 >

新たな感染症等に対応するため、迅速な情報収集と提供を目的とした「感染症危機管理システム」の充実を図ります。

感染症発生後の対策として指定医療機関の確保に向けて関係機関と調整を行います。

発生を想定した訓練、研修を実施するとともに、アイソレーター、マスク等防護資材を備蓄するなど発生時の対応が的確に行えるようにします。

引き続き感染症に関する調査研究・試験検査を行うとともに、感染症や感染症予防対策など正しい情報を三重県感染症情報センターから提供します。

地域のボランティアと協働して行う世界エイズデーや結核予防週間等の啓発活動を通じて、

患者等の人権尊重を図ります。

<主な事業>

感染症危機管理システム事業【基本事業名：32501 感染症危機管理体制の確保】

当初予算額： 4,620千円 3,714千円

事業概要：県内の感染症のまん延を防ぐため、感染症の探知、調査、情報提供等を行う感染症危機管理システム（体制）の充実をはかります。

結核・感染症発生動向調査事業【基本事業名：32501 感染症危機管理体制の確保】

当初予算額： 22,586千円 21,965千円

事業概要：感染症に関する情報を迅速に収集、解析するとともに、医療機関や県民へ情報提供を行うことにより、感染症のまん延を防ぎます。

防疫対策事業【基本事業名：32501 感染症危機管理体制の確保】

当初予算額： 205,202千円 214,065千円

事業概要：第二種感染症指定医療機関への運営費補助、感染症防止のための消耗品、抗インフルエンザウイルス薬等の備蓄および職員の感染症研修を行います。

エイズ等対策費【基本事業名：32502 感染症予防および治療体制の充実】

当初予算額： 7,138千円 7,606千円

事業概要：エイズのまん延防止を図るための検査・相談および感染症患者にかかる人権啓発等の事業を行います。

(新) 日本脳炎ウィルスの動向等に関する研究費

【基本事業名：32503 感染症対策のための調査研究・試験検査の推進】

当初予算額： 千円 1,119千円

事業概要：日本脳炎ワクチン未接種者の感染リスク等についての調査研究を行います。